

中野こども病院ニュース

平成28年6月10日発行 第34号

中野こども病院から患者保護者の皆様へ“今知ってほしい”情報を発信します

おたふくかぜが流行中です



おたふくかぜが流行しています。報告数は依然として増加傾向です。

以前流行したのが5年前ですのでおたふくかぜにかかっていないお子様も多数いらっしゃいます。予防策としては予防接種が有効です。髄膜炎や難聴などの合併症もありますので注意が必要です。思春期以降にかかってしまうと要注意の疾患ですので中高生のお子様にも注意が必要です。

Q.おたふくかぜってどんな病気ですか？

A.ムンプスウイルスの感染後2-3週間の潜伏期間を経て、片側あるいは両側の耳下腺が腫れて痛みを伴います。

Q.どうやってうつりますか？

A.主に唾液を介しての飛沫感染、接触感染でうつります。とくに耳下腺が腫れる2日前からの7日間が最も感染力が高いとされています。

Q.治す薬は？どうやって治療しますか？

A.特別な治療薬や治療法はありません。ワクチン接種が唯一の対応策です。

Q.どんな症状に気を付ければよいですか？

A.通常は1-2週間で軽快します。合併症として、髄膜炎(1-2%)、難聴(1000例に1例)、思春期以降では精巣炎や卵巣炎も要注意です。強い腹痛を訴えるときは睪炎の合併も注意が必要です。高熱が続く頭痛や嘔吐を伴うときは髄膜炎の可能性が高く、早めの受診が必要です。



食中毒に気をつける季節です 食中毒になってしまったら??

病院に行くタイミングは？

おうとや下痢で元気がない、ぐったりする。いちごジャムのような血便がでる。おしっこが出なくなる、などの症状があれば救急受診が必要です。

薬は？

下痢止めは、菌やウイルスが身体から排泄されるのを遅らせ、毒素が増えるため通常は使用しません。消化を助けるための整腸剤は補助的に使います。細菌性腸炎の場合は、適切な抗生剤を使用します。

人から人へうつりますか？

感染経路は糞口(ふんこう)感染と言い、便中の菌やウイルスが、手を介してまわりの人の口に入って感染します。手洗いや、包丁・まな板などの調理器具の消毒が重要です。おうと物や便のすみやかな除去が感染の広がりを防ぎます。

学校・園へ行けるようになるのは？

細菌性腸炎の場合は菌が便から出なくなるのを確認してからになります。ウイルスの場合は胃腸症状が改善してから登園しましょう。

当院の流行状況

ヒトメタニューモウイルスの検出は減ってきました。このまま終息する予想です。

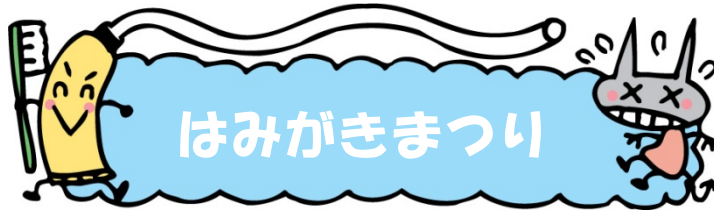
ロタウイルスの検出数は減ってきました。代わってノロウイルスが多数検出されています。嘔吐や下痢症状で来院される患者様も多いです。

アデノウイルス感染症が検出され始めました。

おたふくかぜが多く報告されています。



〒535-0022 大阪市旭区新森4-13-17
社会医療法人 真美会 中野こども病院
TEL: 06-6952-4771
<http://www.nakano-kodomo.or.jp>



6月1日に病棟行事“はみがきまつり”を行いました！！

6月4日が「虫歯予防デー」、6月10日までは「歯の衛生週間」ということで当院では6月の病棟行事ははみがきにちなんだ行事としました。

内容は虫歯予防デーにちなんだお話、製作は“はみがきカバ作り”を行いました。



製作で作ったはみがきカバです。ハブラシ付きで口をあけるとカバの歯を歯磨きできます！！
たくさんの患者家族の皆様に参加していただきました。



当院を受診される患者保護者様へ

- 駐輪場が新しくできました。病院北側にあります。自転車で来院の際はご利用ください。
- お車で来院される際は、病院南側の立体駐車場をご利用ください。病院受診時や面会時にも無料でご利用いただけます。詳細は常駐している警備員にお声かけください。近隣のご迷惑になりますので路上駐車は絶対におやめください。
- 病院本館東側に車寄せができました。患者様の乗り降ろしや、入院時の荷物の運搬やお迎えなどにご利用ください。なお、長時間の駐車はご遠慮ください。
- 待合の椅子には限りがあります。子どもたちが座れないことがないように、混雑時は譲り合っておかけ下さい。少しでも待合に多くの患者様が座って頂けるよう、ご協力宜しくお願い致します。
- 当院は全館禁煙、敷地内も禁煙となっております。病院の外で喫煙されても煙が病院内に入ってくることもありますので、病院周辺での喫煙もご遠慮ください。また、たばこのポイ捨ても絶対にしないでください。病気で来ている子どもたちのためにもご協力よろしく申し上げます。
- 診察、検査、処置が終わるまで飲食はご遠慮ください。もどしたり、咳込みの原因になります。